

1日目 日本橋・品川・川崎

お江戸日本橋

かねてから計画していた東海道 53 次ウォーキングを 2009 年 10 月 18 日(日)に開始、快晴。七つ立ちならぬ朝 9 時に日本橋をスタート、まずは日本橋近辺の写真。

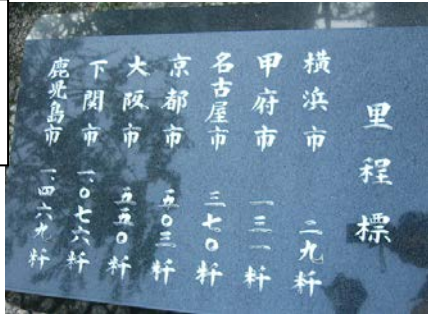
ここには東海道の起点だけでなく、日本の道路の原点となる道路元標があり、西は鹿児島、東は札幌までの里程標がある。

日本橋の上を高速道路があり、周囲の風景に風情はないものの、橋そのものには欄干と飾りの像があり古めかしいイメージ。

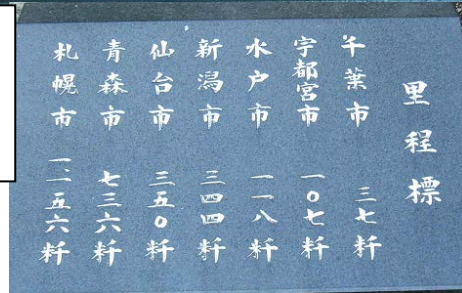
道路元標



西の里程標



東の里程標



日本橋の四隅は日本橋の由来の碑と、乙姫広場、花の広場、滝の広場があり、この乙姫広場は日本橋の碑の対面にあつて、日本橋魚市場発祥地の記念碑と何故か乙姫の像がある。この乙姫像は西洋的で「お江戸」とはマッチせず違和感がある。

日本橋の像 橋の上は高速道路



日本橋魚市場発祥の地の碑と乙姫像



京橋と警察博物館

日本橋から、京橋へ
京橋では京橋の石碑の写真
撮る時に、横に警察博物館が
あるのに気が付く。
一体何が展示してあるのか、
気になる。 犯罪の証拠とか
展示してあるのだろうか。



京橋から銀座へ、と歩いて行く
次第に人が増えてくるものの、
三越等のデパートは開店前なの
でいつもの賑わいに比べれば
まだ人通りは少ないほう。
観光客が半分と、さすがに銀座
と感じさせるようなファッショ
ンの若い人が半分。

新橋から大門、三田

新橋のガードをくぐって、旧東海道は第一京浜を南へ。 東京タワーを右に見て以前のオフィスの
あった浜松町では寄り道をしてオフィスビルの写真を一枚、昼飯でお世話になった「でり坊」も健
在、このあたりは日曜日には人影は少ない。

大門を経由して芝大神宮の前を通過して田町へ、ここに、西郷隆盛と勝海舟会見の記念碑があったが、
何度も田町に来ていてこんなものがあるのに気が付かなかった。石碑の台座には、昔のこの近辺の
地図のバネルが埋め込まれている。 高輪の大木戸跡として一里塚の様な塚がありその先が高輪と
なる。 赤穂浪士の墓があるので有名な泉岳寺は旧東海道から少し離れている。

旧オフィスのあったビル



西郷隆盛と勝海舟会見の地の碑



品川宿 1 番目

左側は品川駅の高輪口、右側は品川プリンスホテルの前を歩く、左側の線路の下はラーメン屋さんが集まった「品川麺の達人」、通称「品川麺達」となっているがまだ早朝で閉店。

八ツ山橋を渡り京浜急行の踏み切りを超え、右側の狭い横丁にはいるとそこは品川宿。

因みに、踏み切りを越えたところに品川宿の案内板があり、その案内板に八つ山橋は「ゴジラ上陸地点」と明記されている。

問答河岸碑の横の店のシャッター



品川宿は、道路自体は昔の宿場町らしく狭いが、宿場の遺構は何も残っておらず、碑や説明板のみ。

最初に目につくのが「問答河岸の碑」、これはこの近くに東海寺があり、3 台将軍家光がこの地を訪れ、河岸まで見送りに来た沢庵和尚に「海近くして東(遠)海寺とは如何に」と問うたところ、和尚は「大軍を率いても将(小)軍と言うが如し」と応えたことによる。

一休さんの頓智と同様の他愛の無い駄洒落の応酬! その碑の横の商店は古い構えのすし屋で、日曜日なので閉めているが、そのシャッターの絵がいかにも昔の品川らしく面白い。

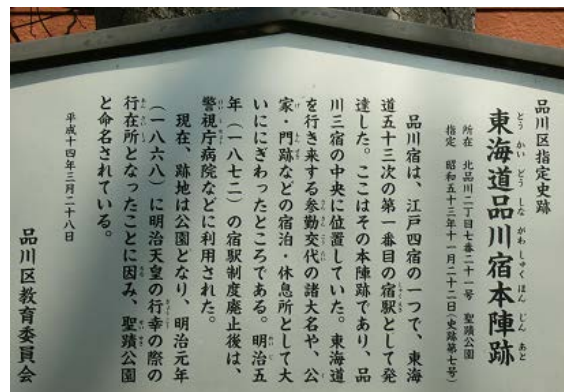
駐車場には「俣宿」の看板、これもしゃれている。「土蔵相模」の石碑もあったが、これは幕末に高杉晋作等がイギリス公使館を焼き討ちする際に談合した旅籠の跡とのこと。

本陣の跡は公園となっていてここで一休み。

駐車場



品川宿本陣跡の説明板

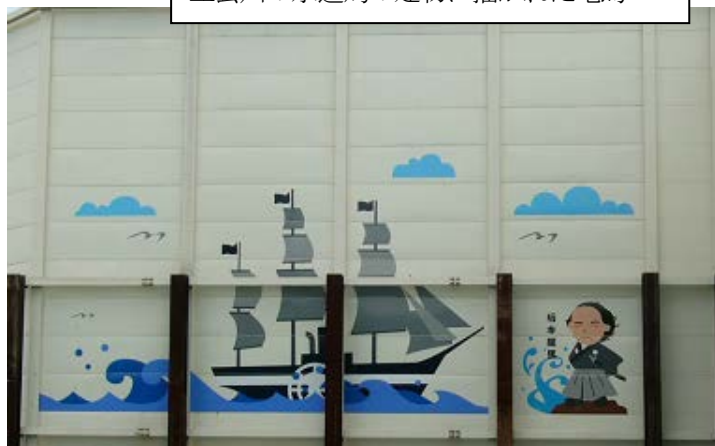


品川宿から道はほぼ直線、京浜急行と平行していて、駅名は北品川から青物横丁へと続く。

道路には「旧東海道」の標識が随所があり、昔からの寺や神社が数多く残っていて、旧東海道ハイキングの人も多い。

鈴ヶ森

立会川の水道局の建物に描かれた竜馬



有名な「そばの吉田や」を横目に見て通り過ぎると次は立会川、立会川の名称は、一説には「鈴ヶ森刑場へ送られる罪人を、立会川を挟んでその親族や関係者が最後に見送る(立ち会う)事から「立会川」となった」とのこと。

この近辺は東京で居住しているアパートにも近く、朝のウォーキングで歩いている場所でもある。京急立会川駅のそばには、坂本竜馬像が有って、「若き日の竜馬がゆく」ののぼりも翻っている。

幕末にはこの地に土佐藩管理の浜川砲台があつて、ペリー来航時に若き日の龍馬がその砲台を警備したとのこと、司馬遼太郎の「竜馬が行く」に書いてあつたかな？

その立会川の川に架かった浜川橋(通称涙橋)のたもとに、涙橋の由来が書いてある。

涙橋の由来



涙橋を渡り、大井競馬場を左手に見て暫く歩くと旧東海道は再び第一京浜に合流するが、その合流地点の道路にはさまれた3角形の狭い小公園が鈴ヶ森刑場跡。

石碑、供養塔等以外に、首洗い井戸」や八百屋お七の「火あぶり台」、「磔台」などのおどろおどろしいものがあり、火あぶり台は丸穴、磔台は角穴となっている。

説明板によると、刑場は74m x 16mの広さで、余り広くはない。打ち首、磔、火あぶりなどの刑の見物人は処刑を目前で見ていたことになる。

南無阿弥陀仏

金網に覆われた首洗いの井戸



火あぶり台



礫台



昼食は平和島

旧東海道は第一京浜と再び離れてミハラ通りとなり、京急平和島駅の付近で環七を横断する。その平和島駅の近所でゴマラーメンの昼食。ミハラ通りを過ぎると再び第一京浜と合流し、歴史的遺物は何も無い道路をひたすら歩く。京急の梅屋敷を過ぎ、蒲田を過ぎ、雑色を過ぎ、六郷の渡しの大師橋で多摩川を渡り、1日目のゴールの川崎に到着したのは2時半。

多摩川を渡って、橋のたもとから東京側を臨む



本日は3.5万歩を歩き距離は約25Km。このことに備えて、週末には10Km程歩いていたのに足にマメが2個。昔の人は1日に40Km(十里)歩いたそうで、脱帽。本日は殆ど第一京浜を歩いたが、この第一京浜は国際女子マラソンや箱根駅伝のルートでもある、40Kmもマラソンで走る人を無条件に尊敬します。

1日目

